

東日本旅客鉄道株式会社

代表取締役社長 深澤 祐二殿

J R 東日本輸送サービス労働組合

中央執行委員長 佐々木 宏充

京葉線・武蔵野線ならびに埼京線における

乗務員基地の再編成に関する申し入れ

首都圏エリアの乗務員職場では乗務員基地の再編成が進められていますが、2021年11月に「京葉線・武蔵野線乗務員基地再編（丸の内車掌区、東京電車区、東所沢電車区、さいたま車掌区、蘇我運輸区）」2022年9月には「埼京線乗務員基地再編（大宮運転区、大宮車掌区）」が関係する地方本部に提案されており、複数支社に跨がる乗務員基地の再編成となっています。

複数支社に跨がる京葉線・武蔵野線および埼京線の乗務員基地再編成では、本部および支社間の異動となる乗務員基地の新設であり、そこには組合員の居住地をはじめとした生活設計に大きな影響を及ぼすことが懸念されます。

また、埼京線の乗務員基地再編成は、JTSU-E 申第 2 号『『変革 2027』の実現に向けた組織の再編について』に関する第三次申し入れ交渉の中で示された「1線区1乗務員区の線区については、これまで行ってきた支社の計画業務を現業機関で行う」との考えに相反しています。新たに乗務員区所を新設し本部、支社に跨がる2乗務員区所となるような基地再編は、その目的において整合性のとれないものとなっていると言わざるを得ません。

乗務員基地再編成は、線区の安全・輸送品質の向上と社員、組合員の働きがいにつながる施策とすることが求められています。

したがって、下記のとおり申し入れを行いますので、労使間の取扱いに関する協約に準じ、団体交渉は信義誠実対等の原則に従い秩序を保ち平和裡に行うことに踏まえて丁寧かつ具体的に回答をすること及び速やかな労使交渉の開催を強く要請します。

記

1. 京葉線・武蔵野線および埼京線における乗務員基地再編成を実施する目的ならびに業務執行体制、実施時期等の全容を明らかにすること。
2. 京葉線・武蔵野線および埼京線における乗務員基地再編成を実施するにあたり、安全で輸送品質・サービス品質の向上をどのようにして実現していくのか具体的に示すこと。
3. 防災・減災の視点ならびに旅客流動の変化を見極めた上で、乗務員としての質的向上を図るとともに異常時体制を考慮した乗務員基地再編成を行うこと。

以 上